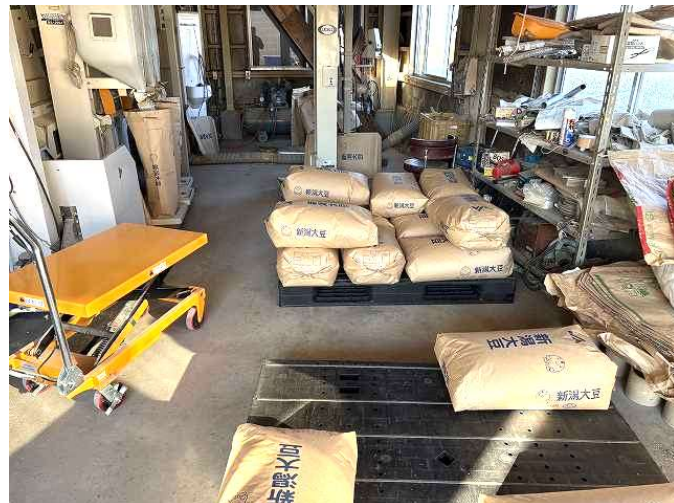




真保さんの田んぼ



大豆の出荷作業

二十四節気 小雪

しょうせつ

わずかながら雪が降り始める頃
遠くの山の山頂に冠雪が見えます

朝から雨が強く降っています。

一昨日の新潟県内は、今季一番の冷え込みとなりました。

山沿いの地域では、多いところで30cmほどの積雪となりました。

初雪でこれほど積もるといことは珍しいと地元の方がニュースで話されていました。

現在、大規模生産者の方のところへお邪魔すると、大豆の調整・出荷作業をされているところが多いです。

お米は、フレコンでの出荷が多くなりましたが、大豆は今年からフレコン出荷がOKになったものの、紙袋での出荷が主流となっています。



選別された「大豆」

刈り取りは概ね終わった模様ですが、天候の影響で、一部刈り取りが残っているところもあるようです。

生産者の皆さんは、来期の作付けの構成も決めなければならない時期となり、種粃や各品種の資材の発注をこの時期に発注をかけます。



種粃の一部が入荷しました



追熟の終わった「ル・レクチェ」



貴重な「ル・レクチェ」

新潟を代表するフルーツ、西洋梨の「ル・レクチェ」が昨日解禁日となりました。収穫時期は10月中旬から下旬にかけて行われ、その後1か月程、追熟をします。ル・レクチェは甘く芳醇な香りが強く人気の品種で、「西洋梨の貴婦人」と呼ばれています。

栽培が難しく、生産量も少ない為、「幻の西洋梨」とも呼ばれます。

解禁日だったこともあり、昨日は新潟のテレビ局のニュースでは、どの局も「ル・レクチェ」の特集が放送されていました。

春に雹に当たった影響や夏場の高温等により、栽培している農家さんの話では、今年は例年に比べて製品の量がだいぶ少ないそうです。

今年は大変貴重な「ル・レクチェ」となりそうなので、見かけた際はぜひ購入してみてください。



山も紅葉しています